

宮崎労働局発表
令和元年5月31日解禁

【照会先】
宮崎労働局職業安定部
部長 大原 竜太
職業安定課長 清水 由美
地方労働市場情報官 岩下 利男
(代表電話)0985(38)8823

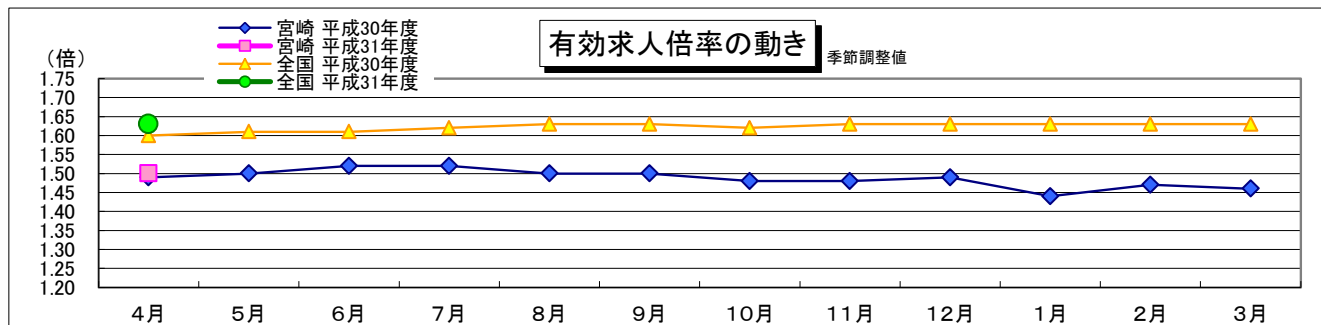
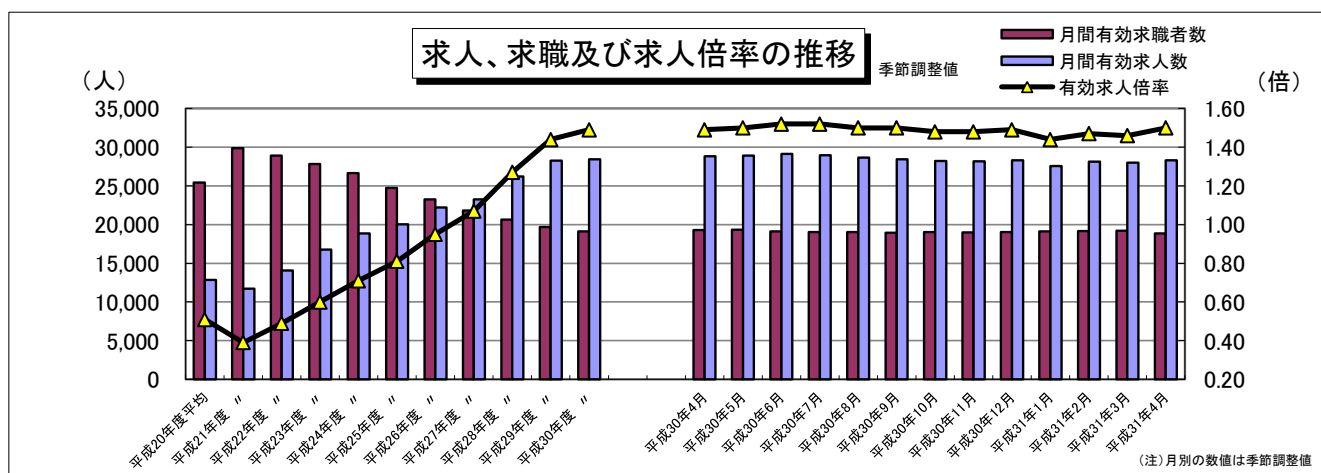
報道関係者 各位

雇用失業情勢(平成31年4月分)

平成31年4月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.50倍と前月より0.04ポイント上昇。
有効求人倍率は、46ヶ月連続で1倍台を維持。
正社員有効求人倍率(原数値)は、0.98倍と前年同月より0.08ポイント上昇。
雇用失業情勢は、着実に改善が進んでいる。

- ・平成31年4月の【有効求人倍率】(季節調整値)は、前月より0.04ポイント上回り1.50倍となった。
- ・【有効求職者数】は、前月比(季節調整値)で1.9%減、前年同月比(原数値)で2.3%減(97ヶ月連続)。
- ・【有効求人数】は、前月比(季節調整値)で1.2%増、前年同月比(原数値)で1.5%減(6ヶ月連続)。
- ・【新規求職者数】は、前年同月比(原数値)3.0%減、【新規求人数】は、前年同月比(原数値)2.2%減となった。

本県の労働市場における有効求人倍率(季節調整値)は、有効求職者数(同)が前月比1.9%減少し、有効求人数(同)は前月比1.2%増加したことから、前月より0.04ポイント上回り**1.50倍**となった。
新規求職者数(原数値)は、前年同月比で3.0%(192人)減少となった。なお、有効求職者数(原数値)は、前年同月比2.3%(474人)減少し97ヶ月連続となっている。
新規常用求職者(パートを除く)を求職時の態様別にみると、前年同月比で在職者が2.5%(24人)増、離職者が3.6%(104人)減、無業者が22.4%(57人)減となった。なお、離職者のうち、事業主都合離職者は12.8%(109人)減となっている。
一方、新規求人数(原数値)は、前年同月比で2.2%(235人)減少となった。また、有効求人数(原数値)は、前年同月比で1.5%(433人)の減少で6ヶ月連続となっている。
新規求人数を産業別にみると、前年同月比で18産業中10産業で増加となった。内訳としては、医療、福祉が220人(8.4%)増、卸売業、小売業が48人(3.7%)増、製造業が41人(3.8%)増等となる一方、サービス業(他に分類されないもの)が273人(16.2%)減、運輸業、郵便業が101人(16.6%)減、農、林、漁業が97人(29.5%)減等(18産業中8産業で減少)となったことから、全体で235人(2.2%)の減少となった。



有効求人倍率(季節調整値、倍)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宮崎	平成30年度	1.49	1.50	1.52	1.52	1.50	1.50	1.48	1.48	1.49	1.44	1.47	1.46
	平成31年度	1.50											
全国	平成30年度	1.60	1.61	1.61	1.62	1.63	1.63	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63
	平成31年度	1.63											

○季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

1. 新規求職の動き<原数値>

<数値の対比は前年同月比>

○【新規求職者数】(原数値)は、6,288人で3.0%(192人)減少となった。

新規常用求職者(パートを除く)を求職時の態様別にみると、前年同月比で在職者が2.5%(24人)増、離職者が3.6%(104人)減、無業者が22.4%(57人)減となった。なお、離職者のうち、事業主都合離職者は12.8%(109人)減となっている。

また、パートを除く新規常用求職者を10歳刻みの年齢階層別(6区分)にみると、24歳以下が8.3%(47人)減、25~34歳が増減なし、35~44歳が11.3%(101人)減、45~54歳が6.8%(52人)減、55歳~64歳が6.3%(42人)増、65歳以上が7.2%(21人)増で、全体では3.3%(137人)減となっている。(別表7参照)

常用求職者を職業別にみると、「専門的・技術的職業」が3.1%(35人)減、「事務的職業」が5.4%(90人)減、「販売の職業」が9.0%(38人)減、「サービスの職業」が6.2%(59人)減、「農林漁業の職業」が7.1%(8人)増、「生産工程の職業」が2.3%(10人)減、「輸送・機械運転の職業」が4.5%(10人)増、「建設・採掘の職業」が16.3%(22人)増、「運搬・清掃等の職業」が1.2%(11人)増となった。

新規求職(パートを含む、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	6,480	5,294	4,541	4,555	4,774	4,462	4,871	4,053	3,252	5,249	4,951	5,128	57,610
平成31年度	6,288												6,288
対前年同月比	-3.0%												-3.0%

2. 新規求人の動き<原数値>

<数値の対比は前年同月比>

○【新規求人数】(原数値)は、10,323人で2.2%(235人)減少となった。

新規求人数を産業別にみると、前年同月比で18産業中10産業で増加となった。内訳としては、医療、福祉が220人(8.4%)増、卸売業、小売業が48人(3.7%)増、製造業が41人(3.8%)増等となる一方、サービス業(他に分類されないもの)が273人(16.2%)減、運輸業、郵便業が101人(16.6%)減、農、林、漁業が97人(29.5%)減等(18産業中8産業で減少)となったことから、全体で235人(2.2%)の減少となった。(別表8参照)

新規求人(パートを含む、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	10,558	10,115	10,175	10,237	10,011	10,005	10,950	9,963	8,468	11,038	10,819	9,743	122,082
平成31年度	10,323												10,323
対前年同月比	-2.2%												-2.2%

3. 職業紹介状況について(パートを含む)<原数値>

<数値の対比は前年同月比>

○【職業紹介状況】は、紹介件数が773件(12.4%)減の5,475件となり、就職件数は184件(7.7%)減の2,210件となった。就職率(対新規求職者)は、1.8ポイント下回って35.1%となった。

うち、パートの紹介件数は316件(16.3%)減の1,624件となり、就職件数は93件(11.0%)減の752件となった。就職率(対新規求職者)は、3.2ポイント下回って32.4%となった。

就職(パートを含む、件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
就職件数	平成30年度	2,394	2,514	2,259	2,116	2,116	1,948	2,281	2,038	1,569	1,619	2,096	2,474	25,424
	平成31年度	2,210												2,210
	対前年同月比	-7.7%												-7.7%
就職率	平成30年度	36.9%	47.5%	49.7%	46.5%	44.3%	43.7%	46.8%	50.3%	48.2%	30.8%	42.3%	48.2%	44.1%
	平成31年度	35.1%												35.1%

(注)就職率は新規求職者数に対する比率

4. 正社員有効求人倍率の動き<原数値>

○【正社員有効求人倍率】(原数値)は、0.98倍となり、前年同月比で0.08ポイント上昇した。

(正社員有効求人数 12,784人 常用フルタイム有効求職者数 13,020人)

※正社員有効求人倍率:正社員有効求人数/常用フルタイム有効求職者数。なお、常用フルタイム有効求職者数にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率よりも低い値となる。

次回公表予定日 令和元年6月28日(金)

別表1 職業紹介状況(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	平成31年4月	平成31年3月	対前月 増減率(差) (%)	平成30年4月	対前年同月 増減率(差) (%)
1 月間有効求職者数(人)	20,331	19,545	—	20,805	▲2.3
季節調整値	* 18,834	* 19,198	▲1.9	19,296	—
2 新規求職申込件数(件)	6,288	5,128	—	6,480	▲3.0
3 月間有効求人数(人)	28,525	29,417	—	28,958	▲1.5
季節調整値	* 28,324	* 28,000	1.2	28,837	—
4 新規求人数(人)	10,323	9,743	—	10,558	▲2.2
5 紹介件数(件)	5,475	6,740	\	6,248	▲12.4
6 就職件数(件)	2,210	2,474		2,394	▲7.7
7 就職率(6/2)(%)	35.1	48.2		36.9	▲1.8
8 充足数(件)	2,124	2,392		2,291	▲7.3
9 充足率(8/4)(%)	20.6	24.6		21.7	▲1.1

* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

別表2 有効求人倍率(季節調整値、倍)

	平成31年4月	平成31年3月	前月差 (ポイント)	平成30年4月
宮崎県	1.50	1.46	0.04	1.49
全国	1.63	1.63	0.00	1.60

別表3 雇用保険一般受給者実人員の推移(基本手当基本分、人) (受給者実人員=失業給付を実際に受けた受給資格者の実数をいう)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成29年度	3,540	4,395	4,290	4,489	4,914	4,568	4,591	4,229	3,828	3,874	3,706	3,670
平成30年度	3,581	4,444	4,200	4,553	4,607	4,331	4,371	4,024	3,774	3,839	3,590	3,462
平成31年度	3,579											

別表4 安定所別有効求人倍率(原数値、倍)

	平成31年4月	平成31年3月	平成30年4月	前年同月差 (ポイント)
宮崎	1.50	1.61	1.47	0.03
延岡	1.18	1.24	1.05	0.13
日向	1.14	1.19	1.04	0.10
都城	1.74	1.91	1.90	▲0.16
日南	0.94	1.09	1.03	▲0.09
高鍋	1.10	1.17	1.15	▲0.05
小林	1.51	1.53	1.32	0.19
県計	1.40	1.51	1.39	0.01

別表5 九州各県の有効求人倍率(季節調整値、倍)

	平成31年4月	平成31年3月	前月差 (ポイント)	平成30年4月
福岡	1.64	1.61	0.03	1.60
佐賀	1.31	1.28	0.03	1.30
長崎	1.26	1.23	0.03	1.21
熊本	1.63	1.66	▲0.03	1.72
大分	1.57	1.58	▲0.01	1.50
宮崎	1.50	1.46	0.04	1.49
鹿児島	1.37	1.34	0.03	1.28
沖縄	1.18	1.18	0.00	1.17

* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

別表6 パートタイム職業紹介状況

	平成31年4月	平成31年3月	平成30年4月	前年同月 増減率・差 (%)
1 月間有効求職者数(人)	7,277	6,654	7,287	▲0.1
2 新規求職申込件数(件)	2,322	1,621	2,376	▲2.3
3 月間有効求人数 (人)	9,589	9,715	9,793	▲2.1
4 新規求人数 (人)	3,687	3,324	3,444	7.1
5 紹介件数 (件)	1,624	1,951	1,940	▲16.3
6 就職件数 (件)	752	803	845	▲11.0
7 充足数 (件)	705	767	777	▲9.3
8 充足率 (%)	19.1%	23.1%	22.6%	▲3.5

別表7 新規常用求職者の求職時の態様別内訳(パートを除く)

県 計		24歳以下	25歳～34歳	35歳～44歳	45歳～54歳	55歳～64歳	65歳以上	合計
新規求職申込件数	平成31年4月	516	912	789	712	711	314	3,954
	平成30年4月	563	912	890	764	669	293	4,091
	前年比	▲ 8.3%	0.0%	▲ 11.3%	▲ 6.8%	6.3%	7.2%	▲ 3.3%
在職者	平成31年4月	136	276	219	203	126	20	980
	平成30年4月	122	262	248	196	105	23	956
	前年比	11.5%	5.3%	▲ 11.7%	3.6%	20.0%	▲ 13.0%	2.5%
離職者	平成31年4月	293	599	546	485	569	285	2,777
	平成30年4月	323	603	609	538	550	258	2,881
	前年比	▲ 9.3%	▲ 0.7%	▲ 10.3%	▲ 9.9%	3.5%	10.5%	▲ 3.6%
事業主都合	平成31年4月	22	108	138	137	205	131	741
	平成30年4月	32	110	178	173	207	150	850
	前年比	▲ 31.3%	▲ 1.8%	▲ 22.5%	▲ 20.8%	▲ 1.0%	▲ 12.7%	▲ 12.8%
自己都合	平成31年4月	269	485	396	340	249	80	1,819
	平成30年4月	288	486	411	339	233	78	1,835
	前年比	▲ 6.6%	▲ 0.2%	▲ 3.6%	0.3%	6.9%	2.6%	▲ 0.9%
無業者	平成31年4月	87	37	24	24	16	9	197
	平成30年4月	118	47	33	30	14	12	254
	前年比	▲ 26.3%	▲ 21.3%	▲ 27.3%	▲ 20.0%	14.3%	▲ 25.0%	▲ 22.4%

別表8 産業別・規模別新規求人状況(原数値)

項 目	求 人 状 況				
	平成31年4月	平成31年3月	平成30年4月	前年同 月比(%)	
産業別・規模別					
A.B 農、林、漁業	232	198	329	▲29.5	
C 鉱業、採石業、砂利採取業	16	4	9	77.8	
D 建設業	807	792	787	2.5	
E 製造業	1,113	857	1,072	3.8	
食料品製造業	312	240	254	22.8	
飲料・たばこ・飼料製造業	45	33	23	95.7	
繊維工業	40	97	67	▲40.3	
木材・木製品製造業	154	133	95	62.1	
家具・装備品製造業	16	5	3	433.3	
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	9	15	▲100.0	
印刷・同関連業	29	9	42	▲31.0	
化学工業	33	38	37	▲10.8	
石油製品・石炭製品製造業	0	0	0	-	
プラスチック製品製造業	34	17	36	▲5.6	
ゴム製品製造業	10	14	17	▲41.2	
窯業・土石製品製造業	20	42	19	5.3	
鉄鋼業	1	6	5	▲80.0	
非鉄金属製造業	0	1	4	▲100.0	
金属製品製造業	26	55	55	▲52.7	
はん用機械器具製造業	31	33	63	▲50.8	
生産用機械器具製造業	26	10	25	4.0	
業務用機械器具製造業	34	14	81	▲58.0	
電子部品・デバイス・電子回路製造業	60	15	76	▲21.1	
電気機械器具製造業	34	38	17	100.0	
情報通信機械器具製造業	60	25	85	▲29.4	
輸送用機械器具製造業	134	4	46	191.3	
その他の製造業	14	19	7	100.0	
F 電気・ガス・熱供給・水道業	8	13	1	700.0	
G 情報通信業	258	177	250	3.2	
H 運輸業、郵便業	509	430	610	▲16.6	
I 卸売業、小売業	1,356	1,188	1,308	3.7	
J 金融業、保険業	74	69	87	▲14.9	
K 不動産業、物品賃貸業	109	84	116	▲6.0	
L 学術研究、専門・技術サービス業	236	302	215	9.8	
M 宿泊業、飲食サービス業	670	585	753	▲11.0	
宿泊業	84	155	105	▲20.0	
N 生活関連サービス業、娯楽業	308	381	361	▲14.7	
O 教育、学習支援業	130	204	177	▲26.6	
P 医療、福祉	2,845	2,767	2,625	8.4	
Q 複合サービス事業	132	122	91	45.1	
R サービス業(他に分類されないもの)	1,408	1,377	1,681	▲16.2	
S.T 公務、その他	112	193	86	30.2	
合 計	10,323	9,743	10,558	▲2.2	
規 模 別	29人以下	6,496	6,392	6,891	▲5.7
	30～99人	2,403	2,308	2,416	▲0.5
	100～299人	1,076	829	941	14.3
	300～499人	215	98	127	69.3
	500～999人	93	95	107	▲13.1
1,000人以上	40	21	76	▲47.4	

産業分類は、平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく。

正社員の有効求人倍率（原数値）の推移

○ 正社員有効求人倍率は、0.98倍と前年同月比で0.08ポイント上昇。

（倍）

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
1月		0.45	0.43	0.46	0.40	0.28	0.25	0.34	0.39	0.42	0.51	0.59	0.68	0.82	0.98	1.05
2月		0.43	0.44	0.47	0.40	0.26	0.24	0.35	0.38	0.42	0.51	0.58	0.69	0.81	0.97	1.05
3月		0.41	0.43	0.43	0.38	0.24	0.24	0.33	0.37	0.41	0.50	0.57	0.67	0.77	0.93	1.01
4月		0.36	0.39	0.38	0.33	0.21	0.22	0.30	0.34	0.37	0.46	0.53	0.64	0.74	0.90	0.98
5月		0.32	0.39	0.35	0.32	0.19	0.21	0.29	0.34	0.36	0.46	0.52	0.65	0.75	0.90	
6月		0.30	0.38	0.35	0.29	0.18	0.21	0.30	0.34	0.38	0.48	0.52	0.67	0.77	0.95	
7月		0.31	0.38	0.35	0.30	0.19	0.22	0.31	0.35	0.40	0.49	0.55	0.67	0.79	0.96	
8月		0.32	0.41	0.37	0.32	0.19	0.24	0.33	0.37	0.43	0.51	0.59	0.71	0.82	0.96	
9月		0.34	0.41	0.38	0.32	0.20	0.26	0.33	0.38	0.45	0.53	0.61	0.73	0.85	0.97	
10月		0.36	0.41	0.39	0.31	0.21	0.27	0.33	0.39	0.46	0.54	0.63	0.76	0.87	0.99	
11月	0.43	0.39	0.44	0.39	0.31	0.21	0.29	0.35	0.40	0.47	0.58	0.66	0.77	0.90	1.01	
12月	0.44	0.41	0.45	0.41	0.30	0.23	0.33	0.37	0.42	0.50	0.59	0.68	0.81	0.94	1.06	

（資料出所）宮崎労働局集計

※数値は原数値。

※正社員とは、パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員・正職員などと呼称される正規労働者をいう。

※正社員有効求人倍率＝正社員有効求人数／常用フルタイム有効求職者数。なお、常用フルタイム有効求職者にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

【参考指標】 就業地別の求人数を用いた有効求人倍率（季節調整値）（31年4月）

「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」とは

→実際に就業する都道府県を求人地として集計した有効求人倍率。なお、通常発表している都道府県別の有効求人倍率は、求人を受理した場所を求人地として集計している。

- 本社が多く所在する地域では、受理地別の有効求人倍率より「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」が低い傾向がある。
- 宮崎県の「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」は1.64倍で受理地別の有効求人倍率(1.50倍)より0.14ポイント高い。

		① 有効求職者数	② 有効求人数	③ 就業地別 有効求人数	④ 有効求人倍率 ②/①	⑤ 【参考指標】 就業地別 有効求人倍率 ③/①	⑥差 ⑤-④
平成30年	4月	19,296	28,837	31,744	1.49	1.65	0.16
	5月	19,329	28,929	31,760	1.50	1.64	0.14
	6月	19,112	29,128	31,833	1.52	1.67	0.15
	7月	19,020	28,959	31,752	1.52	1.67	0.15
	8月	19,035	28,638	31,590	1.50	1.66	0.16
	9月	18,959	28,438	31,357	1.50	1.65	0.15
	10月	19,016	28,202	31,114	1.48	1.64	0.16
	11月	18,984	28,159	31,163	1.48	1.64	0.16
	12月	19,016	28,295	31,303	1.49	1.65	0.16
平成31年	1月	19,135	27,554	30,519	1.44	1.59	0.15
	2月	19,176	28,141	31,143	1.47	1.62	0.15
	3月	19,198	28,000	30,725	1.46	1.60	0.14
	4月	18,834	28,324	30,944	1.50	1.64	0.14

(資料出所) 宮崎労働局

※ 数値は季節調整値。季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

※ 有効求職者数は求職を受理したハローワークが所在する都道府県単位で集計。

※ 季節求人については受理所を就業地とみなしている。

※ 1件の求人に複数の就業地があり、就業地毎の求人数が明確でない場合、それぞれの就業地に順番に求人数を割り当てて配分している。